

教務旬報

登校日数
74 / 199

教務通信 第7号 平成30年7月24日

これまでの授業を振り返って

7月までの授業が終わりました。振り返ってどうだったでしょうか。

まず、1番言いたいのは、

「授業心得5ヶ条」を守って授業を受けることができたでしょうか。4月当初にとっても大事なことを確認しました。さらに校長先生から「場を整える」という話がありました。教務課として場を整える場面が授業だと思います。授業心得5ヶ条をしっかり守って授業に臨むことができましたか。入校許可証を職員室に借りに来たり、遅刻している生徒がまだまだいます。夏休み明けの授業からは自覚して欲しいと思います。

また、授業の出席状況はどうですか。欠席・遅刻は大丈夫ですか。だいたい休んでしまった人、遅刻ばかりしている人は要注意です。2年次以上の生徒は分かっていると思いますが、実質、期末考査が終わったら、その後の授業は後期扱いになります。つまり、後期の授業日数の方が前期より多くなるということです。特に冬になるとかぜや体調不良が続出します。まだまだ気を抜く事はできません。体調管理にも気をつけてください。

夏休みが始まります

いよいよ、1か月近い夏休みが始まろうとしています。1年間の中で、これだけ長く自由に過ごせる期間は他にありません。卒業年次生は、進学・就職に向けて力を蓄える重要な時期です。1、2年次生も、模擬試験に向けた実践的な学習や読書、部活動での技術の向上や全国大会参加、インターンシップ等の労働体験など、今までできなかったことに挑戦するチャンスです。自分の成長が実感できるよう、計画的に過ごしましょう。



そして、夏休み後のことも確認しましょう。夏休み明けの2週間後には期末考査があります。各教科により異なりますが、霞城学園高校では、夏期休業中の課題や休み明けの課題テストはありません。しかし、その代わりすぐ考査になります。テスト毎の提出物の完成させることや期末考査に向けた勉強をすることは自ずと夏休み中に必要になってきます。くれぐれも課題がないことで勉強しなくてもいいと勘違いしないように。

各種案内

2020年度からセンター試験に代わる試験が実施されます。それが「大学入学共通テスト」で2021年の1月から実施されます。なにが変わるかという、国語と数学で記述式問題が出題されます。また、英語は「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能評価が導入される。つまり英語は2020年度から2023年度までは大学入試センターが作問した共通テストとして実施する試験と、**民間の資格・検定試験**の両方が用意され、各大学はいずれかまたは両方を利用することになります。

その民間資格の一つが実用英語技能検定(いわゆる**英検**)です。現在の1年次もしくは4修生の2年次で大学進学を考えている人は是非英検を受けて実力をつけていくことをお勧めします。(従来の英検と新しい英検がありますので良く調べてください。)

英 検 第2回検定

2018年度 受付期間 8月1日～9月14日(書店は9月7日)

第3回検定

受付期間 11月30日～12月26日(書店は12月19日)

<保護者の方々へ>

教務旬報は、ホームページでもご覧いただくことができます。モバイルサイト(スマホで閲覧可能)も対応しています。アクセスは以下のアドレスへ

<http://www.kajogakuen-h.ed.jp/htdocs/定時制の課程/生徒・保護者の方へ/>

もしくは、「霞城学園高校」で検索をお願いします。